

# 令和4年度（2022年度）学校教育指導訪問及び教科指導訪問指導訪問 北海道浜頓別高等学校

11月22日（火）、北海道浜頓別高等学校において、学校教育指導訪問及び教科指導訪問が行われました。上川教育局から西埜主査（教科指導（地歴公民））、宗谷教育局から加藤主査（学校教育指導）が訪問し、研究授業や研究協議を実施しました。訪問日の時程、研究協議の概要及び授業を行った先生を紹介します。

日時：令和4年11月22日（火）  
訪問先：北海道浜頓別高等学校  
時程：9：00～ 校長との面談  
9：45～ 研究授業（日本史A）  
10：45～ 研究授業に係る協議  
学校運営に係る協議  
11：40～ 校長へ協議の報告

## 研究授業について

- 日本史A  
場 所：プログラミング教室  
授業者：岡 浩二 教諭
- 学校運営に関する係る協議  
場 所：教育相談室  
対応者：小原 哲 教諭

## 日本史Aの授業風景

「国家間の利害対立をどのように解消するか」という本時の問いが設定され、生徒は、その問いに対する考えを深めていきました。

## 授業内で、対話を通して学習内容を深めている様子

生徒は、自分とは異なる考えを知ること、物事に対する見方・考え方を深めていきました。

## 研究協議（日本史A）の概要について

パワーポイントのスライドとプリントを活用しながら、生徒同士の対話を重視した授業が展開されていきました。西埜主査からは、「日本史の授業では、これまでの歴史を知り、現代を生きる私たちはどう考えて行動するかを考えることが大切である。生徒がさらに広い視点で考えることができる問いの設定や、異なる立場で考えることを促す資料を生徒に提示するなどして、更なる授業改善に取り組んでほしい。」と助言がありました。（高等学校教育指導班 加藤洋平）